

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 10 月 20 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202239		
法人名	医療法人 光臨会		
事業所名	あんしんホーム		
所在地	〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11番15号		
自己評価作成日	平成23年9月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470202239&amp;SCD=320">http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470202239&amp;SCD=320</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年11月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

医療法人が経営するグループホームとして、日頃の健康面の援助や、緊急時の対応の速さと確実性は高いと考えている。  
また、市内の複数の事業者で活動する事業者交流会にも積極的に参加し、研修や講習会での職員のスキルアップや、事例の相談、今後の取り組みについてのヒントやアドバイスなどを相互に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

- 1 当該事業所は、広島市西区中部の閑静な住宅街にあり、広電電停やバス停に近くてアクセスが良く、家族の訪問や知人の面会などに便が良く、また利用者の散歩・買い物などの外出支援などにも最適な立地場所にある。
- 2 施設は鉄筋3階建てで1階をデイサービス、2・3階をグループホームとして運営されており、医療法人経営の施設として介護・医療一体の管理のもと、利用者・家族の安心と信頼感を得つつ、地域住民との協力体制を構築している。
- 3 職員は、明朗闊達で誠実に利用者と接しており「日に一度利用者の笑顔を見ること」を大切にして勤務に当たるなど、管理者を中心にホームの「理念」を共有して利用者本位の支援に努めている。
- 4 利用者は、個室で休まれたり居間で塗り絵を描いたり歌を歌ったりと自由に過ごされ、職員の暖かい見守りのもとに安全で、適切な支援がなされている様子が伺える。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の朝礼で唱和し、全員が意識している。	「思いやりのある支援のもと、利用者・家族に安心と信頼を提供する」と言う理念を管理者・職員は共有し、日常生活の中で「一日に一度は利用者の笑顔を見ること」を大切にされた支援に努めるなど、理念を職務に反映・実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の事業には積極的に参加し、交流の機会を活用している。	自治会・老人会などへの加入、各種行事などへの事業所としての参加は勿論、それらの準備作業段階から事業所として、積極的に関わり地域の一員として、日常的に地域との交流に努めている様子が伺える。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人として月に1度地域に向けた介護教室を開催しており、身体的介護も認知症介護も、幅広く伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定例会議で要望や意見があれば、可能な限り取り組んでいる。	会議は利用者家族、地域代表や行政の担当者等の参加を得て、概ね二ヶ月に一回開催され、出席者等の意見交換も行われている。しかし、参加者が固定化されて、また事業所側の参加者に比べて家族側の参加者が少ないため取り組むべき意見や提言が少ないように見受けられる。	家族は勿論、地域の識者や協力者など多くの参加者を得て会議を活性化し、また、提案された意見は事業所発展のための貴重な資料として、継続してモニターすることが望まれます。また、その成果を報告するなど、積極的な会議の運営により更なるサービスの向上に努められることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には相談の機会を設け、協力を仰いでいる。	市担当者との日ごろからの連絡は、事務的内容が主体の相談・指導となっており、事業所の実績やケアサービスの取組みなどの研修・講習や事例相談などは、市内複数の事業者で開催する事業者交流会の場で行われ、積極的に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束排除を推進し、実際に医療機関等から新規入居された方の拘束を解除できた例もある。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、管理者・職員は研修等を通じ知識として正しく共有しており日ごろから実践している。実際に医療機関から治療のために拘束のまま新たに入居された利用者をリハビリ等の支援により拘束から解除した経験を通じ、拘束をしないケアに対する取り組みに自信を持っている様子が伺える。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>内外の研修や、職員同士の注意などで、いつも意識の向上に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会などで学ぶことはあるが、実際に制度の利用が必要になった例はこれまでに無い。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>見学、相談の頃から、細やかに話し合いと説明を行い、円滑な関係が構築出来る様に心掛けている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年に2度の家族会を開き、機会を設け、日頃から意見、要望の出しやすいような関係作りに努めている。</p>	<p>日常的な面会や電話などの聴取のみならず、年間に2度の家族会を開催し、利用者家族の半数以上の参加を得て、交流を深め、忌憚のない意見や要望を戴いている。日曜日の面会対応や、各種行事への家族の参加により、要望や意見への対応など可能なものは直ちに運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定例ミーティング、カンファレンス等、現場の意見を交わし合う場を多く設けており、運営についても十分に反映させている。	運営に関して特別な会合は設けていないが、毎月開催するミーティングやカンファレンスで、職員の意見や提案を聞く機会を設け、その場で提案された意見等で実現可能なものは、直ちに運営に反映させている。また、上司の許可等を要するものは、その都度意見具申して、極力運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者と職員との個別の話し合いの場や、管理者と現場のリーダーとの連携をとり、一人一人のモチベーションを引き出せるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	多様な研修の機会があり、受けることが出来る。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との交流会には積極的に参加している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人との面談には十分な時間を作り、これまで利用されてきた事業所やご家族からの情報を出来る限り取り入れ、関係づくりに役立てている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の意見や要望を引き出し整理する為のシートを活用し、面談などの機会を大切にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談の結果、当事業所ではなく併設のデイケアの利用をされる事になった事例もある。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活を共に送る中で、職員が教えていただく事も多く、自然と関係が築かれている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族の方との対話の時間を大切に、共に本人を支える事を伝えているが、面会の難しいご家族の方には月に1度の通信による報告が主で、十分な関係が深められてはいない。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方の面会があれば、いつでも来ていただけるような雰囲気作りに努め、また、入居前に近隣に住まれていた方は、散歩の途中にご近所の方との交流を持たれたりしている。	利用者の知人・友人等の来訪時には、積極的に快く歓迎し、面会の場の設定や湯茶の接待等環境を整える支援をしている。退出時には再度の来訪をお願いするなど、関係の維持強化に努めている。また、利用者本人の希望による、外部の知人や遠方の友人との面会についても、家族等の協力を得て支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関わりを増やすよう努め、孤立することが無いように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院などによる退居の後も、家族や関係者との相談やフォローに努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的カンファレンスを行い、一人一人の現状を把握し、本人の希望や思いを大切にしながら介護計画を作りをしている。	利用者の思いや意向を、本人や家族からの情報をもとに把握し、更に、日常的な観察やカンファレンスにより、現状の確認に努めている。特に利用者1～2名に一人の担当の職員を定めて、希望や意向の現状を掴む支援に努めるなど工夫されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントや家族からの情報収集シートを活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の記録記入や、申し送り、気づきがあればすぐに話し合うなど、職員同士の情報交換に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	日頃より本人、家族の要望や思いに耳を傾け、定期ミーティングや定期カンファレンスの時間を確実に取り、その中で職員間の意見交換を行い、介護記録の作成に役立っている。	把握した本人の思いや意向をもとに、家族・職員や必要な関係者と話し合い、その意見やアイデアを反映させた現状に即した介護計画を作成による支援に努めている。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々、個別記録を記入し、伝達用ノート、朝夕の申し送りを活用し、計画の実践や見直しに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	本人、家族の希望があれば、外出外泊も行っている。 受入可能な時には、短期利用も行える。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	同地域の中学生実習のや、ボランティアとの交流を持っている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	同法人医療機関主治医を基本に、必要性が有る場合は他医療機関への紹介も行っている。 また、本人や家族の希望で、それまでかかっていた医療機関に継続して通院する事も可能である。	本人や家族の希望を尊重し、かかりつけ医を希望する場合は、それを基本として関係維持に努めている。母体が医療法人のため大半の利用者は、同法人医療機関を主治医としており、適切な医療支援を受けられるよう支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	事業所内、併設事業所内の両方に看護師の配置があり、介護職員からの相談に応じている。 また、同法人の病院から2週間に一度、医師の往診を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	同法人医療機関との連携を強く保ち、常時スムーズな入退院と情報の交換が行えるよう、日頃から環境を整えている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化の際の説明と同意を得ている。 加え、個々の持病や状況に応じ、その時々で最善が尽くせる様、家族やチーム内の関係性を保っている。	入居時に「重度化した場合における、対応に掛かる指針の説明と同意書」により本人・家族に説明し同意を得ている。 また、状況の変化によりその都度職員と家族間で話し合いを行い、方針の再確認や思いを共有し、最善の方策を家族や職員・関係者をチームとして話し合い支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期研修会や個別の指導を持ち、緊急時の対応について学習や訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練、研修での教育は十分に行っているが、まだまだ地域との協力体制が取れているとは言えない。	年間2回の避難訓練や研修などによる職員教育も行われており、防火設備もスプリンクラーが新たに設置されるなど事業所としての災害対策は整っているが、地域との協力体制については、一部課題が残っている。	地域との話し合いにより、災害時の入居者の避難に関し、地域住民の協力を得ることや、地域の災害時は事業所を地域の避難場所に提供することなど、相互に協力し連携する体制の確立・構築に更なる努力を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人の誇りを最も大切にし、尊重した接遇が行えるよう徹底している。	やっではないけないことや、他人に知られて恥ずかしいことをした場合でも、極力個人の誇りを傷つけないよう、プライバシーを損なわないよう対応や言葉かけに配慮し接している。職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、人としての尊厳を大切にす支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	要望や思いを出しやすい人間関係を作る努力をしている。 要望があれば出来る限り尊重し、自己決定を大切にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来る限り個々のペースを大切にす生活の流れを心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望や要望があれば叶えられるよう努力している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理、準備、片付け、すべての面において、まずは利用者が中心になって行えるよう、極力配慮している。	食事は朝・夕は自炊にて行うため、献立、食材購入、調理など利用者と協力して行っている。利用者が中心となり、好みの献立、買い物、味付けなど、出来る範囲の作業を協力して楽しく食事が出来るよう工夫した支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	個々の好みの把握や、楽しみを付随させた形態、趣向を凝らした物など、十分な栄養、水分摂取が楽しんで行えるよう、配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアについては、週に1度の訪問歯科に加え、口腔機能向上を目指したレクリエーションなど、遊びを取り入れながら日々行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々のパターンや習慣を大切にし、それに沿った援助を心掛けている。	日常支援により把握した利用者個々の時間やリズムをもとに、自尊心や羞恥心に配慮して、さりげない支援に努めている。排泄の失敗やオムツの使用を減らし、排泄が自立できるよう配慮した支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	便通に良い飲食物の提供や、毎日の運動を行い便秘の予防に役立て、場合によっては主治医の協力を仰いでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	完全に応じることは難しいが、毎日入浴の時間があり、出来るだけ応じられるように努力している。	基本的には、利用者一人ひとりの希望に応じて入浴できる様にしているが、完全に要望に応じることは出来ないため、毎日の入浴可能な時間帯の中で出来る対応で、利用者の要望に応える支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	生活のリズムが健全になるため に、日中の活動性を上げ、夜間の 良眠につながる様努力している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	個人のお薬手帳や往診の記録か ら、職員一人ひとりが利用者の 服薬状況の把握と理解に努めて いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	個々の役割や楽しみを知り、い つも生活の質の向上に配慮して いる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	毎日の散歩や、月に数度の行 事、買い物、突発的な外出、ド ライブなど、様々な機会に外出 の支援を行っている。	雨天時を除き、職員が付き添 い2～3名の利用者を、毎日散 歩したり、時には要望により、 知人や友人と面会のため遠路 出かけている。また、季節行事 としての花見や花火見物やド ライブなど、本人の希望を把握 し、家族等と協力しながら外 出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	全員ではないが、少額の現金を 持ち、自分の買い物や散歩時の 買い食いに当てたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば対応し、要望や思いが引き出せる様な働きかけをいつも行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	建物の作りや内装などが少々固い雰囲気ではあるが、快適に過ごせる様な配慮を行い、例えば創作した絵や写真を貼るなどしている。	施設が閑静な住宅街で2・3階を利用しているため、全般的に静かで、採光が良く、共用のリビングも明るくて広く、テーブル・いすのほかソファなども設置され、ゆったりとくつろげる雰囲気となっている。また、6畳の切炬燵の間もあり面会や休息にも利用され、居心地の良い空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングスペースの使い方を場面に応じて工夫し、共有の空間を心地よく過ごしてもらえるよう、配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの家具や調度品を持参してもらい、自分だけの空間が作れるように支援している。	居室は6畳程度の洋間であるが、全室にベッドと和・洋ダンスが備えられており、家具の持込は特に必要ない程である。人によっては、いすやテーブルを持ち込んだり、鏡や衣装掛けや写真など好みの物を持ち込み、飾り付けたりして本人が居心地よく過ごせる工夫がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全に配慮しながら、出来る事やすべき事をそれぞれが行い、生活機能を維持、向上する機会を大切にしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日理念を全員で唱和、掲示することで、意識の共有に努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事などには、準備段階にもこちらから参加している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人として月に1度地域に向けた介護教室を開催しており、身体的介護も認知症介護も、幅広く伝えている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度定例で開催しており、外部の意見や要望を取り入れて、サービスの向上に努めている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	必要時には相談の機会を設け、協力を仰いでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	全職員が所内研修などで重ねて学び、理解を共有している		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	定例の所内勉強会のカリキュラムの一環として虐待の防止も学び、日々お互いの言動にも注意し合っている		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	個人の権利に関して学ぶ機会は設けているが、制度の活用には至っていない		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約前後に十分な時間を取り、理解・納得を得られる様、努めている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	懇談会などを設け、ご家族の意見を引き出せる様、配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>役職を問わず、職員間の関係性を良好に保ち、お互い意見の言いやすい環境作りに努めている</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個別面談や各職務の評価を行い、各自が目標を自分で持てるように支援している</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>月に1度の各種勉強会があり、そこで学ぶだけでなく、職員がその講師を務めることで、更に研鑽する機会を設けている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>事業者の交流会に積極的に参加し、交流会の役員も担っている</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人や家族、ケアマネージャーなどから広く意見を取り入れ、少しでも早くその人らしい生活が営むことが出来るように、配慮している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の不安も軽減出来るよう、なるべく細やかな連絡、相談に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	他のサービスが必要であると感じた場合は、その旨もしっかりと伝える		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員も共に生活する中で、信頼関係を築き、共に支え合いながら過ごしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	時にはご家族も大切な資源として活用もし、絆を役立てた生活援助を心掛けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	気軽に足を運べる雰囲気作りや、今までされたいた習い事も、これまで通り続けられるよう、支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入り、良い関係が築けるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了した後も、必要に応じて生活の援助を行い、関係の維持に努めている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族の意向を細やかに聞き出し、それに沿った生活援助が行えるよう努力している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	まずは本人や家族、ケアマネージャーなどから情報を取り入れ、その後の生活の中でもちょっとした雑談などで得られた情報を職員同士で共有し合っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝夕の申し送りや介護記録、定期カンファレンス等を通じて、把握と共有に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期カンファレンスなどで意見の交換を行い、計画の基盤としている また、計画の進行状況なども、申し送りなどを通じて確認している</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録や連絡ノートを中心に、職員同士の認識を共有し、カンファレンスや計画の基に役立てている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>例えば地域の公民館や医療機関、介護タクシーなど他業種とも協力体制を整え、幅広いニーズに応えられる様、努力している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>同生活圏の中学校からの体験実習や公民館のクラブなどとの交流を持っている</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医療機関を中心に、適切な医療面での援助を受けられる環境を構築すると共に、入居前からの馴染みの医師などとも関係を維持できるよう、様々なケースに対応している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	施設長が看護師でもあり、常時相談できる環境にある		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	法人内に病院があり、しっかりした協力体制が築かれている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	見学や入居相談の段階から、終末期の対応については細やかな説明を心掛け、実際に必要となった場合には、家族、協力医師を中心に、出来る限りのサービスを提供している		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	勉強会などで日々の緊急時の対応について学んでいる また、マニュアルも作成し、共有に努めている		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	内外の研修参加や訓練を行っている 特に市防災センター主催の宿泊研修には、全員の履修を目指し、順に受講している最中		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人を尊重した接遇を行う事を、職員同士で心掛けている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者個人の意思を尊重し、引き出せる様に配慮している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	なるべく個人の希望にそうことが出来る様、職員一人一人が柔軟に対応するように心掛けている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧やパーマなどの希望があれば、そのように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の買い出しから片付けの場面まで、職員と利用者が一緒に行えるような環境と設定に配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	形態やペースに配慮し、個別の食事支援を心掛けている		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後に口腔ケアが行えるように、声かけ、誘導をし、不十分な方へは直接的な介助もしっかりと行う		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	いつまでもトイレでの排泄が出来る様、心掛けて援助している また、生活習慣も大切にし、安易におむつなどに頼らない排泄援助を行っている		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	本人のプライドを大切にしながら毎日排便状況を把握し、コントロールに努めている また、毎日の散歩や、体をしっかり動かす、水分の摂取など、予防に心掛けている		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	ある程度の時間は限られているが、毎日入浴の時間は設けて、一人一人の希望に沿うようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	居室の整備に努めるほか、日中し っかり体を動かし、夜間ぐっすり 眠れるよう、日々努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬内容についての情報を常時 介護記録のファイルに添えてお り、いつでも全員が閲覧出来る 様にしている また、処方薬の変更があった場 合には、連絡ノートに特記する 等、注意を呼び掛けている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	その人の生活歴を知り、一人一 人が役割を持って、楽しみなが ら生活出来るように支援してい る		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	日常でも、散歩、買い出し、ド ライブなどを積極的に行うほか 、行事などでも多彩な場所へ出 かけ、また、ご家族の方々へ も、気軽に外出してもらえるよ う、日々配慮している		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	一部ではあるが個人で現金を所 持しており、自分のお金で買い 物や美容院などに行かれている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年賀状などこちらから声をかけ、思いや要望が言いやすいよう支援している		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	快適に過ごせるように努め、季節感のある空間作りを行っている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールにソファと食卓があり、その時々で思い思いの場所と過ごし方が出来る また、別の場所に畳の間も設けており、様々に使える		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	幾つかの備品はあるが、基本的にはそれまでの馴染みの家具や調度品を持参してもらい、雰囲気作りに努めている		
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	職員の見守りや援助の基で、安全に配慮した上で、生活の活動をしっかりと行える工夫を行っている		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名：あんしんホーム

作成日 平成 24 年 1 月 17 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加者が固定され過ぎていて、毎回の会議がホーム側からの報告などに終始してしまっている。	参加者を多様化し、地域や家族にホームの活動や取り組みをもっとよく知って理解を頂く。	固定化した参加者以外にも呼びかけを行い、意見を引き出し易い状況作りに努める。	1年以内
2	13	非常災害時に備え、地域住民との協力体制を整える。	ホーム災害時には避難の協力を得、地域の災害時には避難場所に提供するなどの相互協力の体制を整える。	地元自治会との話し合いの場を重ねる。	1年以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。